



ご入園、ご進級  
おめでとうございます!



～公立保育所及び認定こども園の給食のご紹介～

給食の目標

給食では、子どもたちに必要な栄養素を満たす食事を提供するだけでなく、将来における望ましい食生活の基礎づくりを目標にしています。  
また、給食を通して、子どもたちが旬の食材や季節ごとの行事食を知ること大切に行っています。

給食の意義

- ① 健康に過ごすために、成長に必要な栄養素を摂ること
② 友だちと一緒に給食を食べることによって、手洗いの習慣・食事のマナー・後片付け・栄養や健康の知識などの「食を通じた生きる力」を学ぶこと
③ 心のふれあいや望ましい人間関係を育てる場であること

栄養量の基準

公立保育所及び認定こども園では、子どもの一日に必要な栄養量(給与栄養量)のうち、給食とおやつで

- 1~2歳児 ... 50%
3~5歳児 ... 45%
を摂取できるよう目標にしています。

※この数値に沿っていますが、個人差もあり、子どもたちの発育・発達・生活状況などに合わせて、提供しています。

※1日の栄養量を1ヶ月の平均として「幼児食だより」に表示しています。

【給与栄養量：年齢に応じた一日に与えることが適当な熱量及び栄養素の量】



献立内容について

主食 ... ご飯が主ですが、土曜日には、うどんやスパゲティなどの麺類を提供しています。また、月1~2回程度パンの提供があります。(納品の都合により11月から4月の期間のみ)

副食 ... 主食に合わせて以下の事を考慮しながら、いろいろな料理を組み合わせ提供しています。

- ① 給与栄養量が満たされていること
② 様々な食材を使用すること
③ 献立品目・調理形態・組み合わせなどに変化をつけること



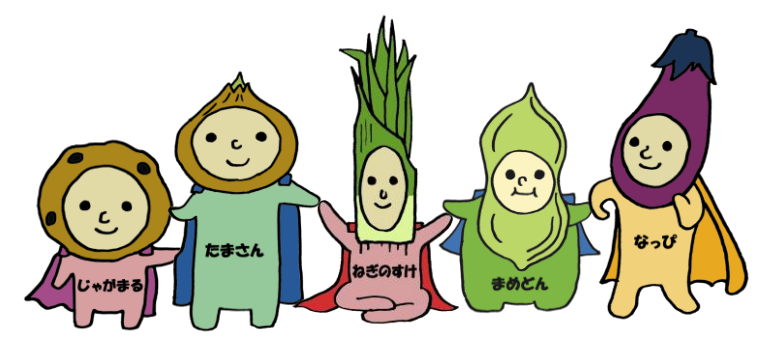
おやつ ... 乳幼児は一度にたくさんの食事が摂れず、3回の食事では摂りきれない栄養量を補うために、おやつを提供しています。※できるだけ毎日の手作りおやつに取り組んでいます。



市のホームページからは、過去の毎月のお献立がご覧いただけます。



みんなの健康をまもる「なわてレンジャー」



四條畷市では、市民のみなさんと一緒に食育の推進に取り組んでいます!

※「なわてレンジャー」は、四條畷市の食育推進キャラクターです。



- ★市の栄養士が献立の作成と発注をし、調理業務を委託しています。
★肉や野菜などは、できるだけ国産のものを使用しています。
★食育のひとつとして地場産のお米と小麦を使用する予定です。
入荷が決まれば事前におたよりでお知らせします。